

令和5年度 第3回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）【委員・事務局用】

開催日時	令和6年3月19日（火）14時30分～16時05分
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール
出席者	<p>委員 西田 洋平 会長 久保田 幸子 副会長 設楽 純江 委員 高橋 浩也 委員 森谷 芳浩 委員 甲木 なな子 委員</p> <p>事務局 藤田 中央図書館長 熱田 管理担当長 仁和 奉仕担当長 長沼 中央図書館窓口業務委託業務責任者 小泉 北図書館長 落合 西図書館長 市楽 総括責任者兼南図書館長 西海 奉仕担当主管 関山 管理担当主査 渡邊 管理担当主任 笠井 管理担当主任</p>
欠席者	なし
傍聴人	3名

1 議 事

（1）今期の重点協議事項の検討

ア 学校図書館との連携（平塚市電子図書館・学校連携）（2～4ページ）

- 【 委 員 】 低学年は児童書、高学年は調べ学習での利用が多い。朝の読書タイムでも活用され、高学年は比較的満足している様子。低学年からは本の冊数の増、中学年からは教科書に沿った内容の資料の充実といった要望も出ている。
自宅で課題をする際に、学校の図書館で借りた本を持ち帰らなくても、タブレットだけで完結できることに利便性を感じている児童もいる。
電子図書館の資料は教室のモニターに映して全体で共有することができない（著作権）。それが緩和されれば授業でも活用でき利用の幅が広がる。
- 【 委 員 】 中学生は自ら進んで利用をしているので、活用方法は概ね生徒に任せている。中学校教育研究会の図書部会（主に国語の教員で組織する部会で、図書や読書感想文等を協議）でも情報共有をしている。授業で活用されていない学校もある。全校で取り組めるように次年度に向けて確認していきたい。
生徒の利用は個人差がある。利用していない生徒に関心を持ってもらえるよう、中学生向けに取り扱っている本の紹介等があるとありがたい。
- 【 委 員 】 IDやパスワードの管理でトラブルは起きているか。
- 【 事 務 局 】 パスワード忘失の相談は何件か受けている。初期化により対応している。その他、大きなトラブルは発生していない。
- 【 会 長 】 個人で電子図書館を利用している人のIDと今回小中学校向けに発行されたIDの区別はあるか。
- 【 事 務 局 】 利用制限の区別はない。統計上の区別はできない。
- 【 会 長 】 学校のタブレット端末だけが利用できる資料はあるのか。
- 【 事 務 局 】 端末による違いはない。
- 【 会 長 】 小中学校向けに付与されたIDを学校のタブレット以外の端末で利用することは可能か。
- 【 事 務 局 】 他端末でログインして利用することもできる。

【 委 員 】	学校でも読書に割ける時間が少なくなっている。タブレット端末を利用すれば手軽に読書ができるので、自宅に持ち帰った後の活用も増えると良い。
【 事 務 局 】	図書室の棚に本を探しに行く必要もなく、その場ですぐに読書できることが電子図書館の利点でもある。より多くの生徒児童に便利さを知ってもらい、活用してもらいたい。
【 会 長 】	学校図書館との連携を図るためにも、図書館と図書部会が積極的に連携していけると良い。
【 委 員 】	YA 資料の一般書、児童書の割合や利用頻度は確認できるか。
【 事 務 局 】	YA 資料のみでの集計は難しい。電子図書館のトップページに中学生・高校生におすすめの本の特集を組んでいる。その本の貸出状況からある程度分析できるかもしれない。新しく紹介した本はすぐに予約が入ることが多く、利用頻度は高いように思われる。
【 会 長 】	電子図書館のホームページは図書館で管理しているのか。
【 事 務 局 】	トップページに何を並べるか等の管理は図書館でしている。基本的に毎日確認し、利用しやすいように更新している。
【 委 員 】	読み放題パックの期限はあるのか。また、今後取り扱うタイトルを増やしていく予定はあるか。
【 事 務 局 】	期限は1～2年。年度末に初期に購入した本が期限を迎えるが、取り扱い冊数が減らないように、追加購入していきたい。なお、今年度は275点購入しており、次年度も同程度の本を購入していきたいと考えている。
【 委 員 】	電子図書館で本のリクエストは受けていないか。
【 事 務 局 】	電子書籍されていない本も多数あり、受け付けていない。
【 会 長 】	電子図書館の件で、資料をモニターに映せないのは契約の関係か。
【 事 務 局 】	著作権によって制限されているが、学校教育の場で認められるようなケースがあれば情報を共有させていただく。
次回は、電子図書館に限らず、学校現場と公立図書館との連携強化について協議していくこととした。	

イ 平塚市図書館全体の効果的な運営（駅前予約図書受取所利用状況）（5～7ページ）

【 副 会 長 】	一日に2名の職員が配置されているが、時間帯で分けているのか。
【 事 務 局 】	そのとおり。開所時間が長い時間分担任している。
【 副 会 長 】	一日当たりの利用数が見える資料を提示してもらいたい。
【 委 員 】	利用者からの要望等は受けているか。
【 事 務 局 】	便利になったといった声が多い。リクエストの受付などの手続きもできるようにしてほしいという要望もあるが、スペース的に対応が難しい。
【 会 長 】	勤めている方が立ち寄るであろう、夕方以降の時間帯の利用者数が少なく感じる。土日祝日は17時までの開所であり、年単位の集計だとうまく反映されないため、曜日で分けて集計した方が分析しやすいように思う。
【 副 会 長 】	駅前予約図書受取所を開所した主たる理由が、通勤通学の帰りに立ち寄れるようにすることだと思う。件数が伸びていないのは意外である。また、居住地区別貸出者数を見ると、南図書館や中央図書館周辺の居住者の利用が多い。遠方地区の利用も増えていくと良い。
【 会 長 】	図書館ホームページのトップに、駅前予約図書受取所の開所時間を載せて

	おくと良いのではないか。
【副会長】	開所から2年経つが認知度が低い。周知方法を工夫して、紹介する媒体を増やすことが大切ではないか。 また、南口の返却ポストが目立たず、見つけづらい。キャラクターのぶくまるを付ける等して、もう少しわかりやすくしてほしい。 ジ アウトレット湘南平塚に設置されている返却ポストの利用頻度はどれくらいか。
【事務局】	数は多くないがコンスタントに利用はされている。
【委員】	ジ アウトレット内「本のもり」の本は入れ替えしているか。また、紛失はあるのか。
【事務局】	週1回、返却ポストの本の回収と併せて確認をしている。破損や汚れのある本の回収や、季節に合わせた本の入れ替えを行っている。今のところ本の紛失は発生していない。
【会長】	その他の返却場所と駅前の返却状況を比較できると良い。
【副会長】	返却場所が増えるのは、利便性が向上して利用者としてもありがたい。
【委員】	回収はどのように行っているのか。
【事務局】	配送業者に委託している。週1～2回でスケジュールを組んでいる。
【副会長】	他館からのリクエスト本も配送業者が運搬しているのか。
【事務局】	各館毎に仕分けて、配送業者に届けてもらっている。
次回も引き続き、駅前予約図書受取所の効果的な運営について協議していくこととした。	

(2) 報告事項

ア 事業報告

事務局から資料の説明。(8～18ページ)

(ア) 中央図書館実施事業(8～10ページ)

【補足】

- 3月1日(金)の布絵本講座の出席者は16名。
- 3月8日(金)のブックスタートボランティア講習会の参加者は13名。その他、聴講として、現任のボランティアや窓口受託者、県内職員の12名が参加。

(イ) 4館共通実施事業(11～12ページ)

【補足】

- 市民の図書館体験を月末休館日に初めて実施し、展示の入れ替えや新聞の装備を体験してもらった。(中央)
- 司書のお仕事体験会に親子で参加される方もいた。(南)
- 本の福袋は、用意していた全ての福袋が貸し出される館もあった。

(ウ) 地区図書館実施事業

【補足】

- 北図書館(13～14ページ)
終活講座は図書館、公民館、地域包括支援センターの3施設で連携して実施し、23名が参加した。ブックトークは図書館スタッフが訪問し、4年生2クラスに対して実施。
- 西図書館(15～16ページ)

	<p>歴史講座は博物館と連携して実施し、28名が参加した。映画会はクリスマスに合わせて実施し、30名が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 南図書館（17～18ページ） <ul style="list-style-type: none"> ビブリオバトルは4名参加。参加者を募るのに苦慮しているが、継続して実施して周知していきたい。タブレット型PC体験講座は南部福祉会館と共催で実施し、10名参加した。
【 委 員 】	南図書館のビブリオバトルの午前と午後の参加状況、聴衆者の状況はどうか。
【 事 務 局 】	午前3名、午後1名の申込があったが、午後を希望されていた方をお願いして午前にまとめて開催した。参加者以外は部屋に入れていない。
【 会 長 】	ビブリオバトルには様々なやり方がある。北図書館でも実施したのか（14ページ）。
【 事 務 局 】	参加者が集まらなかったので中止した。身近に感じてもらえるよう、他の読書サービスを進めるところから始めていく必要性を感じている。
【 委 員 】	中央図書館の布えほん講座を申し込もうとしたが、定員に達していたため申し込めなかった。Web申込で抽選にしてもらえるとありがたい。
【 事 務 局 】	今回初めて開催した講座だが、9時に受付を開始して15分程で定員に達した。団体が手作りした材料を使用するため、定員を増やすこともできなかった。大変好評だったため、次年度以降も開催を検討している。その際は募集の仕方も工夫したい。
【 委 員 】	作成した絵本を図書館の蔵書としてりんごの棚等で活用しないのか。
【 事 務 局 】	2時間の講座では絵本として完成させることができない。1冊の布えほんを作成するには、複数のスタッフで数か月かかると言われている。作品を次に繋げていけるように、内容を検討していきたい。
【 会 長 】	中央図書館で実施した市民の図書館体験の対象年齢を18歳以上とした意図は何か。
【 事 務 局 】	夏休みと冬休みに中高生の図書館ボランティアを実施していたため、今回は対象外とした。
【 会 長 】	本の福袋は1冊だけのものもあるのか。福袋と聞くと複数冊入っているイメージがある。
【 事 務 局 】	スタッフがテーマに合わせて選書している。1冊のものもある。
【 会 長 】	発想を広げて、何冊か入れると楽しさが増すのではないかと。また、小学生向けの本は9類（文学）以外の本も混ぜると視野が広がるように思う。
【 事 務 局 】	なるべく違う分類の本を組み合わせるように工夫している。
【 会 長 】	西図書館のレファレンス体験はとても良い。自分で調べられること、図書館にレファレンスサービスがあることを知ることは大切なことだと思う。
【 事 務 局 】	次年度以降も継続していきたい。
【 委 員 】	図書館体験のターゲット層はあるのか。
【 事 務 局 】	中学生以上の方が参加できるようなプログラムにしている。
【 委 員 】	図書館体験での経験から、学校ボランティアにつながると良い。
【 会 長 】	西図書館で開催した「平塚の今昔」のイベントに関して、今後はデジタルアーカイブとの連携や、他図書館の行われたウィキペディアタウンのようなイベントを考えていっても良いと思う。

イ その他報告

事務局から資料の説明。(19～20ページ)

(ア) 多様な資料を活用した教材化ワークショップ参加報告(19ページ)

(イ) りんごの棚(20ページ)

【 委 員 】	LLブックは一般の棚にもあるが、りんごの棚はそれとは別の扱いなのか。
【 事 務 局 】	りんごの棚には子ども向けの本を揃えている。
【 委 員 】	利用する人は子どもに限らないと思われる。2階の貸出室にも棚を設置するなど、検討してもよいのではないか。
【 事 務 局 】	「大人向けは2階にある」の表示をする等して、1階と2階のどちらにも関連書籍があることを案内していきたい。
【 会 長 】	りんごの棚のような取り組みは知られていくことが大事。実際に利用されなくても、このような取り組みを知るだけで意識が変わっていくように思う。
【 副 会 長 】	1階ロビーに設置しても、多くの人目に留まって良いと思う。
【 委 員 】	「りんごの棚」の名称は他館でも使われている。「ブックスタート」のように何か制限があるのか。
【 事 務 局 】	制限はない。Apple Shelf Project という団体が活動を推進している。
【 委 員 】	今後、デジタル化された資料の活用が大事になってくる。今回のワークショップの経験を今後の事業に活かしてもらいたい。
【 会 長 】	平塚市内の先生を対象にワークショップをしていく等、形あるものにしてほしい。
【 事 務 局 】	来年度、平塚市のデジタルアーカイブを充実させていきたいと考えている。どのような資料をデジタル化したら良いか、どのような形が使いやすいのか、学校現場の声を聴きながら進めていきたい。

(3) その他

○ 今後の予定

令和6年度第1回平塚市図書館協議会については、4月以降に日程を調整することとした。

閉 会